

# 野生鳥獣被害対策の観点からの生息環境としての 森林管理技術開発事業（新規）

【平成21年度予算額 10,000(0)千円】

## 事業のポイント

森林の状況や鳥獣の生息状況等様々な条件に応じて、野生鳥獣被害の軽減を図りつつ、生息環境としても適切となるような森林の管理技術を開発します。

- ・近年の野生鳥獣による全国の森林被害面積は、約5千～7千haで推移
- ・このうち、シカによる被害が約6割
- ・近年、生息域の拡大等を背景に新たな地域で発生
- ・シカによる下層植生の食害等により、生物多様性の喪失や土壌流出などの新たな問題も顕在化

## 政策目標

保全すべき松林が適切に保全されていると認められる都府県の割合100%（森林病虫害等の被害の防止）

### < 内容 >

- 1．奥山、里山など地域別及びシカ、クマなど鳥獣の種別ごとに、森林の状況や被害発生状況等に関するデータの収集・分析・検討を行います。
- 2．1の結果を踏まえ、森林被害の軽減に資する野生鳥獣の生息環境としての適切な森林管理技術を開発します。

### < 委託先 >

民間団体

### < 事業実施期間 >

平成21年度～23年度（3年間）

[ 担当課：林野庁研究・保全課 ]